

ふれあい おおつ

141

URL <http://otsu.la.coccan.jp>
Eメール ohtsu-shakyo@jcom.home.ne.jp

大津地区社会福祉協議会
発行人 会長 鈴木立也
編集 広報部 会
横須賀市大津町3-20-16
Tel・Fax 046-834-2487
印刷 文明堂印刷株式会社



社明講演会開催

7月26日、社会を明るくする運動の一環として第69回「社明講演会」を大津地区社協、大津地区連町、保護司会の共催により大津コミセンで開催しました。講師には、皇室ジャーナリストの「所功氏」を迎え「皇室の伝統と役割」をテーマに講演をして頂きました。

所氏は、退職後、亭主関白の生活を考えていた矢先、奥様が脳梗塞で倒れ、接し方が難しく大変困ったそうですが、娘さんの協力でうまくコミュニケーションをとりながら介護を続けられているそうです。

新しい年号については、マスコミを含め国民的な話題でしたが、「令和」と決まった時は意外な気持ちを持ったそうです。それは従来の中国の古典からではなく『万葉集』から出典されたことは、画期的で意義があると説明されました。

5月1日、新天皇陛下が即位されました。所氏は『常に国民を思い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴として責務を果たすことを誓い、国民の幸せと国の一層の発展、そして世界の平和を切に希望します』とのお言葉に「皇室の伝統と役割」があるのではと話されました。

昭和天皇が崩御された時は、自粛ムードでの即位でしたが、今回は、お祝いムードで盛り上がり、大変喜ばしいと思われたそうです。

今回の講演会は、少し難しい面があったように感じましたが、タイミングとしては良かったのではないのでしょうか。厳しい暑さの中、ご来場頂きありがとうございました。

(社明講演会チーム 宇津木)



ボール投げ



ボーリングゲーム



さかな釣りゲーム



なかよしひろば

夏まつり



手作りおもちゃコーナー
ぴんぴんかえる



おみこし写真コーナー



7月19日、なかよしひろばの「夏まつり」に119名の親子が遊びにきてくれました。

大津地区社協鈴木会長のあいさつのもと、夏まつり縁日ごっこが始まりました。お店はさかなつり・ボール投げ・ボーリング・手作りおもちゃコーナー・おみこし写真コーナーです。どのお店も大盛況でした。とくにおみこし写真コーナーは長い列ができていました。みんな楽しく過ごしてくれてよかったです。(児童福祉部会)

6月19日、大津コミセンで勉強会がありました。横須賀市赤十字奉仕団大津分団の総会と合わせ、日本赤十字社の指導員細川章子さんと相磯しげ子さんによる指導でした。「地域で支える認知症」のテーマは今回で3度目です。

私たちは身近な問題としてとらえ、認知症の対応法、そして相談する窓口を心得ておく必要があると思いました。

もし家族の中で認知症になったら「まさか」と戸惑いながらも先ず家族で解決しようとするでしょう。しかし認知症を理解しないままま過ぎすとやがて心身共に疲れ、

本人を叱ったり、自己嫌悪に陥つたりの日々になります。早めに医療や福祉の相談窓口を訪ねましょう。

講演を聞いて、今後更に増えるといわれる認知症を理解し、介護サービスを受けるうちに家族に余裕ができると感じました。

「徘徊・妄想・幻覚」など人それぞれに症状が違っていても、人としての尊厳を守り、例えば、夜になると荷物をまとめ「家に帰る!」と言われたら「送っていくね」と一緒に歩いたり、「今晩は泊まっていったら」と機転を利かす対応と心の余裕を持ちたいものだと思いました。

「地域で支える認知症Ⅲ」

＋ 赤十字勉強会 ＋



障がい者福祉施策
について

梅雨空の6月14日、大津コミセンで部会員研修を行いました。

今回は、市の障害福祉課から担当職員を招き、「障がいのある人へのサポートと関係制度について」と題する講演を聴きました。日ごろから触れることが少なかった「障がい者福祉施策」への関心の高さでしょうか、参加者は38人を数えました。

「障がい者」と一口に言っても、身体の障がいばかりでなく精神や知覚、難病などもあり、一人ひとりに合ったきめ細かいサービスが



求められます。

今回の講演に接して、行政は、医療や税制面などさまざまな施策を講じていることが理解できました。しかし、それは、障がい者に寄り添うというよりも、対象者自身からの申請により初めて恩恵を受けられるものが多いという印象を持ちました。その理由は、サービスは存在していてもそれを活用するためのPRが行き届いていないからです。

多くの施策は、可能な限りの自立を促すことを目標にしています。ところが私たち福祉ボランティアに携わる者にさえ、障がい者福祉サービスの存在はおろか、個人情報保護法により、担当地区の障がい者に関する情報を得るのも容易なことではありません。こうした歯がゆさはいつ解消されるのでしょうか？

講演は、障がい者福祉とそのあり方を市民と行政が共通の課題として認識することの必要性を感じさせてくれました。

(障がい者福祉部会 H)

みんなで食べよう！
シャロームひろば

8月7日、大津地域包括支援センター相談窓口シャロームひろば

で「みんなで食べよう！」が開催されました。

参加者は、地域の住民、関東学院大学実習生、大津地区社協、民生児童委員、シャローム職員、総勢20名の方が参加されました。



最初に、看護師による「座って出来る体操、口腔体操」、栄養管理士による「栄養のお話」がありました。その後、質疑応答があり、参加者が健康に関して興味を持っていてることを感じました。

今回のランチはカレーライス。皆さんおいしそうに召し上がっていました。

次回は11月27日、参加希望者は予約が必要です。

(大津ボラセン 筒井)

お詫びと訂正

先に配布した平成三十年度賛助会員名簿に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(敬称略)

大津町1丁目町内会

(正) 山内 和彦

(誤) 山田 和彦

馬堀町3・4丁目町内会

(正) 浅野 和博

(誤) 浅間 和博

根岸町2丁目町内会

(正) 明石 和治

(誤) 明石 和治

走水南町町内会

(正) 柳井 静江

(誤) 柳井 静江

(正) 柳井 孝之

(誤) 柳井 孝之

(正) 柳内 米子

(誤) 柳内 米子

今後とも大津地区社協に対し一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域福祉連絡会

委員長 梨本 まゆみ

ふれあい相談

日程 9月4日 18日
10月2日 16日
11月6日 20日
いずれも水曜日です
時間 10:00～15:00
場所 大津ボランティアセンター
電話 046-834-2487
相談者 民生委員児童委員



いきいきサロン 第2回

ふれあいカフェ 大津町4丁目

大津町4丁目町内会は、大津諏訪神社の境内の一角にあり、正月の初詣、6月の茅の輪くぐり、そして8月の例大祭など、四季の行事を身近に感じながら歩んでいます。

さて、民生委員と社会福祉推進委員が中心になって運営する「ふれあいカフェ」は、長く「おしゃべりサロン」という名称で行ってきましたが、平成29年に名称を変更しました。かつて町内には「老人クラブ」があり、「おしゃべりサロン」もその延長線上で行われていました。しかし、高齢化の影響により「老人クラブ」が解散し、受け皿の役割を果たしていた「おしゃべりサロン」が、その一部を引き継いできました。しかし、こちらも参加者の減少・固定化という問題に突き当たりました。そこで、町内の在住者であれば年齢や性別を問わず誰でも参加できることを願っての名称変更でした。

基本的には毎月朔日(ついたち)が例会日です。内容は、七夕など季節の行事にちなむ紙工作、マジックや舞踊など芸能もの、地域を知るための学習物などに分類されます。



最近では、イタリア料理のシェフによる試食会や日帰りのバス旅行、アイクル見学会、映画鑑賞会、俳句・川柳を楽しむ会、唱歌などを行っています。来年の3月には、琵琶の演奏会も予定しています。

「カフェ」自体にマンネリ化の恐れもありますが、町内会館に集まったの井戸端会議という本来の目標を果たすためには、続けることに意義があるものと考え楽しく肩肘を張らずに行っています。

民生委員児童委員 芳賀 久雄

お知らせ

▽「みかん狩り&バーベキュー」

ひとり親世帯お楽しみ会

とき 11月17日(日)

ところ 横須賀市津久井「志村観光農園」

※申し込みと詳細は、地域の民生委員まで

(児童福祉部会)

ありがとうございます

社会福祉のために温かいご寄付をいただきました。

桜が丘1丁目自治会

コーポ湘南大津

匿名

様 様

ふれあい広場

《俳句》

季楽句会

衣擦れの音に魅せられ合歡の花

勝 芳

草ひくやまぎれし紫蘇の匂いたる

淳 子

朝顔や昨日一輪今朝五輪

絹 子

朝顔の押し花残る日記帳

久 雄

おおつボラセンだより 第22回

ボランティア募集

女声コーラスグループ「コールシラサギ」ではメンバーを募集しています。興味のある方は下記にお問い合わせください。



問い合わせ先

大津地区ボランティアセンター

☎ 046(834) 2487

編集後記

近年、夏休みの団地内は静かです。地球温暖化による熱中症を心配するあまりに外出を控えるのは当然のことですが、子供たちの遊ぶ声も聞こえてきません。

少子化の影響で、うちの自治会では子供会もなくなり本当に寂しく静かな夏休みです。今では高齢者の占める割合は住民の70パーセントを超える状況です。

実は私自身も後期高齢を迎えて家族のため秘かに終活を、ほちほち準備し始めるようになりまし。

福祉関係はもとより、商売関係、町内会関係、組合関係とかの資料が多くて大変です。あいに資産は無いので、遺産相続の心配はせずに済みそうです。元気なうちは福祉だけは生涯の恩返しのため頑張りたいと思っています。

(AKJ 76)